

【2年生と商店街見学】

6月7日と11日に2年生と一緒に鶴川団地商店街の見学に行ってきました。振り返れば、小学校開校2年目の1997年から2年生の学習として続けてきた活動で、今年で24回目（昨年度は実施できませんでした）となりました。この間、ずっと小学校の活動にご協力いただいた商店の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。20年以上もの間、ずっと営業を続けていらっしゃるお店もあれば、違う店に変わったところもあります。働いている方々も代替わりをされている店も多いようですが、「毎年楽しみにしているよ」と言ってくださるお店の方もいらっしゃいます。地域との関わりが少ない学校ですが、このように商店街の皆さんに支えていただけることは幸せなことです。お忙しい中、子どもたちの学びのために時間を割いてくださった商店街の皆さんのへの感謝の気持ちを持って、しっかりと学習成果を発表し合い、学びをみんなで確認し合ってほしいです。

【怒りの感情と向き合う】

思い通りにならないことは学校でも家庭でも子どもたちのまわりにはたくさんあるでしょう。そういうときに自分の感情とどのように向き合うことができるかは、子ども一人ひとりのこれまでの経験と育った環境で大きく異なると思います。

また、これまでの生活で、自分の感情を否定されたり、抑えつけられたりした経験が多かった子はキレやすくなるというレポートを読んだことがありました。「怒り」の感情を持つことは悪いこととは言えません。しかし、「怒り」の感情を抑えることは全ての子どもたちに少しずつでもいいからできるようになってほしいです。学校での子ども同士のもめごとは私たちが把握できていないことまでも含めたら数えきれないほど起きているのかもしれないかもしれません。全ての子どもが、喧嘩をしてしまったら仲直りしたい、いけないことをしてしまったら謝って気持ちを切り替えて前に進みたい、そう思うのだろうと思います。でも、ときにそういう自分の心に素直になれないときもあります。理由はいろいろあると思いますが、その一つは相手（友だち、教員、親など）に自分の気持ちを受け入れてもらえるかが心配だからではないでしょうか。だからこそ、感情の否定や抑圧はできるだけなくしていきたいと思うのです。素直になれない結果として行動に出てしまうことの一つが暴力行為です。特に、それが一方的なものであったり、繰り返されたりすることは絶対に許されません。暴力行為のあとに残るものは、心と身体の痛みや傷、さらに精神的な不安でしょう。「やられたからやり返した」というものであっても、事情を把握していく段階で、「やった」「やってない」のやりとりになってしまったり、しまいには「自分は悪くない」「自分のことを分かってくれない先生が一番嫌いだ」となってしまうこともあります。こういう段階で、教員も全てのことを把握することはなかなか難しく、全ての子どもに寄り添うことができるかといえば、自信はありません。ですから、子どもに向き合うときにも私たちに常には謙虚な姿勢が求められます。

さて、「怒り」のコントロールができない理由には、自分に自信が持てないこと、自分のよさを理解できていないことなど、つまり自己肯定感が低いことがあると言われます。子どもは自分で自己肯定感を高めることはなかなかできません。どうしたらいいのか・・・私は、学校説明会などでもこれまで皆さんにお話をさせていただいてきましたが、子ども自身が「自分は先生に、友だちに、親に受け入れてもらっている・愛されている」という気持ちになれるような声かけをしていくしかないのではないかと思います。その上で、自分の課題と向き合おうとする気持ちを育てること、自分の好きなことや得意なことを見つけて自分を支えていく力を身につけることが大事なのではないかと思います。

学校は全ての子どもが安心して学び、仲間たちと楽しく生活できる場でなければなりません。学校も全力で毎日の教育活動に取り組みます。どうか、保護者の皆様には、お子さんの日々の様子をご覧いただき、気になることが見られましたら、その時は私たちと一緒に考え、子どもたちの支援をしていけるようにご連絡、ご相談をお願いいたします。

【これからの行事】

新型コロナウイルスのワクチン接種が現在高齢者を中心に行われていて、自治体によっては若い世代への接種の案内が始まったところもあるようです。オリンピック・パラリンピックの開催には賛否両論がありますが、私は感染の拡大がないことを祈ります。ワクチン接種では、年齢の下限が12歳とされていますので、小学校ではこれからもその接種の対象となっていない子どもたちと一緒に過ごすわけですから、とにかく子どもたちと接触のある全ての人々が感染しないような状況になることに期待をしています。

今年度に入ってから、県内の私立小学校でも何校かで運動会や遠足などを実施したという話を聞いています。運動会は種目の変更や分散の実施とし密にならないような工夫がされており、遠足などでも普段学校で一緒に生活している環境と変わらない状態を維持できることを基準にして実施したという報告もありました。桐光学園小学校では、秋に多くの行事が予定されています。子どもたちが楽しみにしている行事や活動が実施できるように可能な範囲で準備を進めていくつもりです。